



本番間近! 大学入試改革
夏の教育セミナー

8月8日(木)

金沢

13:00 ~ 17:30 (交歓会 ~ 18:30)

講演者 (敬称略) ※ 8/1 現在

基調講演

大学入試改革



白井 俊

独立行政法人
大学入試センター
試験・研究統括補佐官
(兼) 審議役



文部科学省

特別講演①

大学のアドミッション・ポリシー



金沢大学
柴田 正良

理事・副学長

昭和28年生まれ。1982年名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程哲学専攻単位取得満期退学。中部大学助教授、金沢大学人文学類長、同附属図書館長など歴任。現在、金沢大学理事(教育・法科大学院強化担当) / 副学長を務める。



特別講演②

留学促進・支援



濱田 悠佑

文部科学省官民協働
海外留学創出プロジェクト
「トビタテ! 留学JAPAN
日本代表プログラム」
高校生コース担当



トビタテ!
留学JAPAN

分科会

授業実践 [英語]



山本 崇雄

新渡戸文化小中高校 教諭

新渡戸文化小中学校・高等学校英語科教諭、横浜創英中学校・高等学校教育アドバイザーの他、日本パブリックリレーションズ研究所主任研究員、アルテラスClearコミュニティデザイナー、ゲイトCSR教育デザイナーなど複数の企業でも活動。東京都立中高一貫教育校を経て2019年度より現職。2017年に新しい教育のあり方を提案するプロジェクト「未来教育デザインConfeito」を設立。検定教科書 [NEW CROWN ENGLISH SERIES] (三省堂) の編集委員を務めるほか、著書に「なぜ「教えない授業」が学力を伸ばすのか」(日経BP社)、「「教えない授業」の始め方」(アルク)、「学校に頼らなければ学力は伸びる」(産業能率大学出版部) ほか、監修書に「21マスで基礎が身につく英語ドリルタテ×ココ」シリーズ(アルク)がある。

message 変わりゆく社会の中で、英語の授業をどうアップデートしていけばいいのでしょうか。本分科会では、教師が生徒に「教える」から、教師と生徒がともに「創造する」授業デザインを具体的な事例と体験を通して提案していきます。

分科会

授業実践 [数学]



木内 保

日本大学櫻丘高校 教諭

日本大学豊山女子高等学校中学校、日本大学習志野高等学校において教育に携わる。国立大学の補完授業を担当したことで、中等教育の大切さを実感。現在、日本大学櫻丘高等学校にて、特別進学クラスの授業を担当。本質を身につけ、自立を育む教育を実践している。「数学教室(国土社)」に教育実践を執筆。共著に「検定教科書 数学活用(実教出版)」 「文系のための線形代数・微積分(実教出版)」がある。

message

新学習指導要領、試行テストから大学入学共通テストの特徴をおさえるとともに、その視点をどのように授業に反映できるか検討します。また、大学入学共通テスト風の作問を体験していただくことも予定しています。

分科会

授業実践 [国語]



齋藤 祐

中央大学附属高校 教諭

東京学芸大学卒業。2005年より中央大学杉並高等学校教諭。2018年4月より中央大学附属中学校・高等学校に期限付きで異動中。三省堂高等学校国語教科書編集委員。NHKラジオ高校講座「国語総合」、Eテレ「国語表現」監修講師。都留文科大学非常勤講師。

message

探究学習って教科学習と何が違うの? ルーブリック評価は定期テストの代わりになるの? AIやICTがもっと身近になったら、教員の役割っていったい何? 今こそ学校が存在する意義を、いっしょに考えましょう。

分科会

授業実践 [探究]



稲垣 桃子

立命館宇治高校 教諭

国語科教諭
高2担任
コア探究授業担当



酒井 淳平

立命館宇治高校 教諭

数学科教諭
高2学年主任
研究主任

message

探究の実践を進める上で、大切なのはHOWではなくWHYです。本分科会では文科省の指定を受けて取り組んだ実践を紹介しつつ、なぜ探究なのかについて考え、これからますます重要になる探究の本質に迫ります。

会場 ホテル日航金沢

アクセス JR・IR「金沢」駅(兼六園口)より徒歩3分
北鉄浅野川線「北鉄金沢」駅より徒歩3分

所在地 〒920-0853 金沢市本町2-15-1

